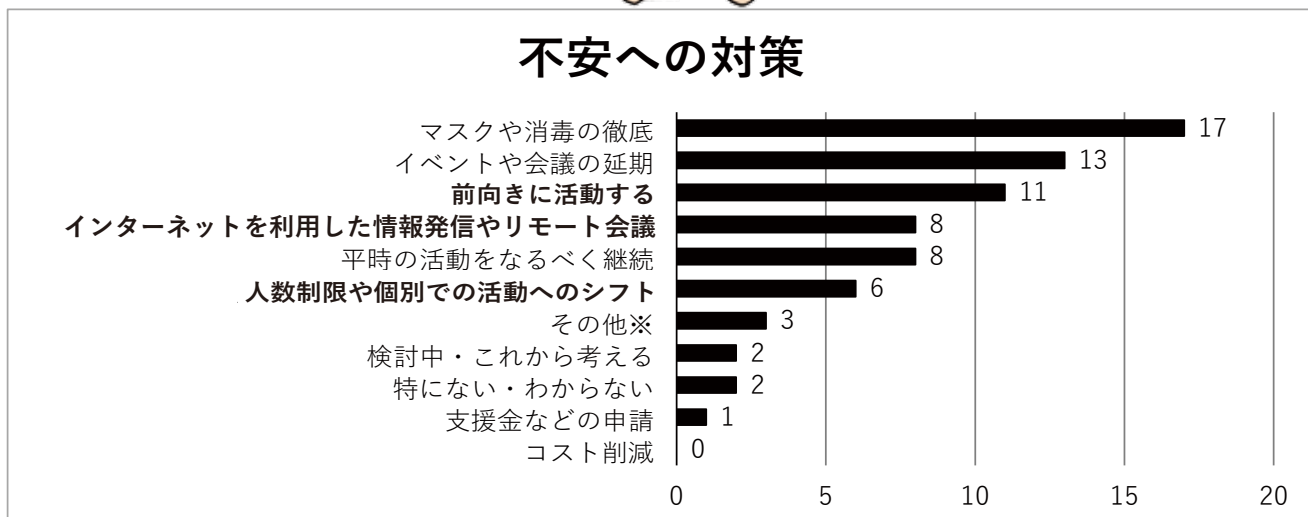
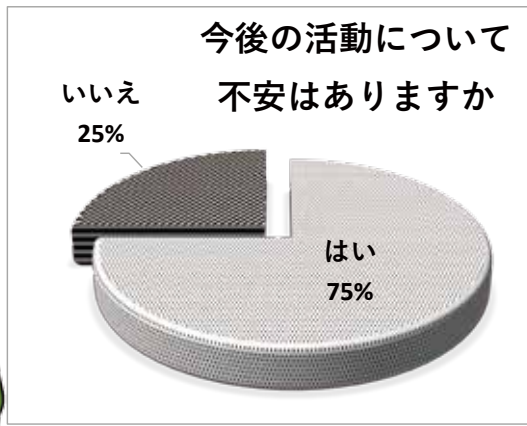
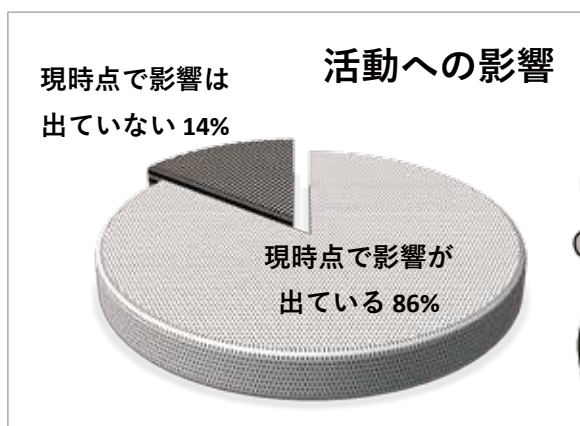


ススめ！ 市民活動

～「コロナ禍」という災害を超えて～



つながりひろば登録団体 (令和3年9月末現在 53 団体中回答 28 団体) へ、まちづくり推進課からコロナ禍の活動についてアンケート調査が行われました。(アンケート実施期間: 令和3年10月8日～11月8日)



アンケート結果からは、コロナ禍中、活動が制限され今後の見通しが立たないことへの不安を強く感じながらも、活動がないことを残念に思う方々への丁寧な対応や、「自分たちができることをするだけだから。」と粛々と活動しつつ、活動方法の多様化を図ったりするたくましい姿を読み取ることができました。

つながりひろばへの希望支援策としては、「業務の継続」と「速やかな情報提供」の2点が7割程度と多くを占めました。つながりひろばは、これからもその期待に応える支援を心がけたいと思います。

まだ気を緩めることはできませんが、「この災害があったからこそ、さらに粘り強くたくましさを増した市民活動になったね。」と笑い合う日がきっとそこまで来ていると思います。



リニューアル

「コミュニティ活動補助金」&「市民活動団体登録」



日程 令和4年 4月23日(土)

10:00~11:30

場所 リーパスプラザこが中央公民館大会議室

皆さんにとって「まちづくり」はなじみのある言葉でしょうか。古賀市まちづくり基本条例では、それを「住みよいまちをつくるための公益的な活動」としています。では、まちづくりを行うのは誰なのか、それについては「市民等・議会・行政」と定めています。つまり、議会や行政はもとより、古賀市に住む私たち一人ひとりも、まちづくりの担い手というわけです。

もちろん、市民はまちづくりのプロフェッショナルではありません。しかし、古賀市の住人だからこそ、住みよいまちにする具体的な方法に気づき、その担い手になることができるのかもしれません。

古賀市には、誰もがまちづくりに参加しやすくするための制度があります。今回はその中から、公募型補助金をリニューアルした「コミュニティ活動補助金」と、つながりひろばへの「市民活動団体登録」について説明会を行います。まちづくりに興味がある、何かやってみたいことがあるなど、関心のある多くの皆さんの参加をお待ちしています。

※「コミュニティ活動補助金」の詳細については広報こが5月号に掲載予定です。



▲2019年開催のようす

ボランティア募集!

小学校の授業時に対応可能な方



母語が日本語でない小学生への日本語おしゃべり支援。
興味のある方、ご連絡ください。
楽しいですよ!!

興味のある団体の活動の体験や自分の団体の活動に役立つミニ講座

今後のハッピーデイ(活動体験タイム)のご案内

日程	内容	定員
5月24日(火) 10:30~12:00	子どもや孫にプレゼント! パペットを作ろう 《布おもちゃ「とまと」》材料費 200円	6名
6月25日(土) 10:00~16:00 1回1時間	個別にサポート! オンライン練習 (1枠2名まで)	5枠

前月1日から1週間前まで予約できます。(☎、☒)

ボランティア活動に興味がある方は、LINE公式アカウント「つながりなかま」登録をどうぞ。ボランティア情報や講座案内など、月2回情報を届けます。



LINE QR

つながりひろば前に団体紹介カードを設置しています。活動に興味があれば、持ち帰りご一考を。

